

秋田県立大学 図書館だより



No.20 2010.1

》》》》》》》》》 目 次 《《《《《《《《《

アイディアが生まれるとき

生物資源科学部図書館運営委員長 阿部 達也…………… 1～2

図書をリクエストしてみよう！…………… 3

発表 学科別貸出ランキング!!…………… 4～5

卒業予定者の貸出について / 春季休業期間中の図書館利用について …… 6



アイディアが生まれるとき

生物資源科学部図書館運営委員長 阿部 達也

学生時代、教授の話に漢詩や古い諺などが出てきた時、この先生は専門外の分野にも造詣が深いのだなと感心したものだ。今自分がそれなりの年齢になって、そのような中味が無いことに甚く気づかされる。若い頃、私はあまり本を読まなかった。時間があれば身体を動かすことが多かった。ところがいつ頃からか、本を手にすることが比較的多くなった。以前は秋田市立の明德館によく通っていたが、その図書館利用カードも今は引出しの中で眠っている。本学の図書館に読みきれない数の本が並んでいるからである。月に一度は図書館から2、3冊の

本を借りているので、年間20から30冊になる。赴任して10年を越えたから、結構な数の本を手にしたことになる。借りてはみたものの、読まずにそのまま返すことも度々あるのだが。

私が読む本はほとんどサイエンスものである。最近小説は読んでいない。何故サイエンス本を読むのか自分なりに理由をつけてみれば、それを読むことで私の脳のどこかが刺激を受けるためらしい。私の職業は一応、研究職となっている。仕事に直接関係の無い本を読んでいる時に、ふとした仕事のアイディアが生まれることがある。それが実際に役立つ時もあるし、役に立た

ない時もある。中味の無い自分に外からいくらかでも何かを注ぎ込むことで、満足という快感を感じることを本を読む理由なのかもしれない。

本を読むことで、その中味の良し悪しが分かるようになってくる。今感じていることは、サイエンスものに限った話だが、日本人の書いた本と欧米人の書いた本には違いがあるように思えることである。ずいぶんと乱暴な言い方だが、欧米人の著書には日本人の著書よりも読み応えのあるものが多い。それは内容の構成、論理の展開、扱う対象の広さなどに関してである。最近の翻訳が読み易くなっていることもそれに加勢している。例えば、J・ダイヤモンドの「人間はどこまでチンパンジーか」(新曜社)やB・グリーン「エレガントな宇宙」(草思社)などは、これだけの内容を書く著者に感嘆させられる。昔、今西錦司の進化論を少しかじった。動物学、免疫学などの著名な日本人の書いた本もだいぶ読んだ。しかし、そのような日本の「知」を代表する人たちの著書をもってしても、欧米の本とは何か少し違うように感じる。

違いが分かることと、分かった違いを実践できることは別である。本の内容が優れていると分かったところで、その内容を自分が書けるわけではない。本を読んでアイデアが浮かんだとしても、所詮、自分の枠を超えるアイデアであるはずも無い。本を手にするだけで、感銘を受けた論理のような展開は自分にはできないまでも、考え方の良し悪しが分かるようになったことだけでもよかったと自らを慰めている。

欧米著者によるサイエンス本のスケールの大きさは、著者の造詣の深さを表しているものと思うが、あるいは情報収集の力を反映しているのかもしれない。サイエンスの本を書くには、小説とは違う情報収集が必要なはずである。書籍出版の事情を知らない私の単なる推量である

が、欧米の著者は日本よりも多くのスタッフや秘書に恵まれて、より豊かな情報を集め、整理ができるのかもしれない。

情報収集といえば、私の仕事でもその方法は昔と様変わりした。現在は必要な情報の多くがネットを介して得られる。読みたい論文のほとんどはパソコンに向かった状態で手に入る。論文以外でも、何か知りたいことや確認したいことがあるとまずキーボードに触れる。本を開くのはその次の段階になる。しかし、パソコン上で作業をしている時には、本を読んでいる時に働くあの想像力は働いていない。おそらく私の脳が違う反応をしているのだろう。

知識を得るために本を読む人もいるかもしれないが、それは私には当てはまらない。読んだ知識の内容は本を置けば忘れてしまう。私に残るものは、本を読むことで感性のどこかが刺激を受けたという事実である。しばらく前に「教養というのは社会の中での自分の位置を知ろうとする努力、あるいは知っている状態、あるいは知ろうとする努力の総体を言う。」という言葉を見つけた(阿部謹也、大学論、日本エディタースクール)。著者によれば、いくつの外国語を理解できるかということが教養ではなく、自分の社会における位置を知っていることが教養なのだという。その言葉に、今西錦司の「すみわけ」論でいうニッチと同じにおいを感じるのは私だけだろうか。

昨今、大学教員は忙しい。本を読みながらアイデアを熟成する時間は少ない。「研究者が考えなくなったら終わりだよ」などと嘯きながら、ゆったりと考える時間がもう少しあればと思っている。

図書をリクエストしてみよう！

図書館に『リクエストBOX』があるのをご存じですか？

みなさんからのリクエストを受け付けています。すべてを購入できるわけではありませんが、内容と予算を考慮のうえ、図書館蔵書としてふさわしいかどうかを決定します。「あったらいいな…」という資料がありましたら、ぜひリクエストしてください。お待ちしております。

みなさんのリクエストで今年度は次のような図書を購入しました！

【秋田キャンパス】



書名：1Q84 book 1、book 2

著者：村上 春樹

出版：新潮社

資料番号：10143924、10143925

請求番号：913.6:Mu43

リクエスト日：2009年6月11日

他には…

「繁殖」仙川環（小学館）

「幻想小品集」嶽本野ばら（角川書店）

「名前探しの放課後」辻村深月（講談社）

「いま卸売業が生き残るための課題」

波形克彦（同友館）

……などなど

【本荘キャンパス】



書名：ゴールデンズランパー

著者：伊坂 幸太郎

出版：新潮社

資料番号：00137204

請求番号：913.6:168

リクエスト日：2009年10月15日

他には…

「Matilda：マチルダは小さな大天才」

Dahl,Roald (Puffin)

「日商簿記1級：とおるテキスト」

桑原知之（ネットスクール出版）

「6 TEEN」石田衣良（新潮社）

「スバラシク実力がつくと評判の複素関数キャンパス・ゼミ」（マセマ出版）

……などなど

【大潟キャンパス】



書名：パラドックス13

著者：東野 圭吾

出版：毎日新聞社

資料番号：60014143

請求番号：913.6:HI:20

リクエスト日：2009年6月3日

他には…

「ナガサキ 消えたもう一つの原爆ドーム」高瀬毅（平凡社）

「そ菜入門」伊東正（実教出版）

「昆虫生理学」大西英爾（朝倉書店）

…などなど

～発表～ 学科別貸出ランキング!!

集計：2008/4/1～2009/11/30

【機械知能システム学科】



★第1位★

「機械加工学」(機械系大学講義シリーズ27) コロナ社

★第2位★

「PID制御」(システム制御情報ライブラリー6) 朝倉書店

★第3位★

「HOW TO 分子シミュレーション」 共立出版

【電子情報システム学科】



★第1位★

「単位が取れる電磁気学ノート」 講談社

★第2位★

「Sherlock Holmes short stories」 (Oxford Bookworms Stage2)

★第3位★

「Football」 (Oxford Bookworms Stage2)

【建築環境システム学科】



★第1位★

「コンパクト建築設計資料集成 第3版」 丸善

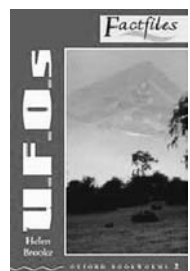
★第2位★

「よくわかる構造力学の基本：建築工学の基礎と解き方」

★第3位★

「コンパクト建築設計資料集成 第2版：住居」 丸善

【経営システム工学科】



★第1位★

「U.F.O.s」 (Oxford Bookworms Stage2)

★第2位★

「最適化とその応用：工学基礎」(新・工科系の数学) サイエンス社

★第3位★

「日商簿記2級最速マスター：工業簿記」 東京リーガルマインド

それぞれの学科の特徴がよく表れています。前期は授業課題である英語読本の貸出が多く、後期になると専門書の貸出率が伸びているようです。

【応用生物科学科】



★第1位★

「Essential 細胞生物学」 南江堂

★第2位★

「細胞の分子生物学 第4版」 ニュートンプレス

★第3位★

「酵母：究極の細胞」 共立出版

【生物生産科学科】



★第1位★

「作物学 I 食用作物編」 文永堂出版

★第2位★

「栽培学：環境と持続的農業」 朝倉書店

★第3位★

「図集・植物バイオテックの基礎知識」 農山漁村文化協会

【生物環境科学科】



★第1位★

「水処理技術絵とき基本用語」 オーム社

★第2位★

「環境修復のための生態工学」 講談社

★第3位★

「環境社会学のすゝめ」 丸善

【アグリビジネス学科】



★第1位★

「101匹わんちゃん」 アルク

★第2位★

「A little princess」 (Oxford Bookworms Stage1)

★第3位★

「Aladdin and the enchanted lamp」 (Oxford Bookworms Stage1)



図書館からのお知らせ



○ 卒業予定者の貸出について

平成22年3月卒業予定者への図書館資料貸出の最終返却期限は2月25日です。

2月26日以降は貸出できません。貸出中の資料は必ず期日までに返却してください。

○ 春季休業期間中の図書館利用について

春季休業期間は2/11(木)～4/11(日)です。

	貸出冊数		貸出期間 * 逐次刊行物は通常期と同じ		
	通常期	休業期間中	図書/音声資料	逐次刊行物	逐次刊行物(最新号)
学 生	5冊まで	10冊まで	下記のとおり	3日以内	1日以内
院 生	10冊まで	15冊まで	下記のとおり	3日以内	1日以内
教 職 員	15冊まで	15冊まで	1ヶ月以内	1週間以内	1日以内

期間中は開館時間および学生、院生への貸出冊数が変更となります。

* 学生・院生は、1月28日(木)～4月5日(月)に貸出した図書、音声資料の返却期限日が4月19日(月)となります。(教職員は通常期と同じです。)

○ 1月～3月の図書館開館スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

<開館時間>		有人開館	無人開館
秋田キャンパス	□ 平日	1月14日～2月10日	8:30～19:00
		2月12日～3月	8:30～17:00
	■ 土日祝日	1月16日～2月7日	
		2月11日～3月	9:00～19:00
本荘キャンパス	□ 平日	1月～3月	8:30～17:00
		試験期間(1/25～2/10)	8:30～20:00
	■ 土日祝日	1月16日～2月7日	
		2月11日～3月	9:00～19:00
大潟キャンパス	□ 平日	通年	9:00～17:00
	■ 土日祝日	休館	

* 1月1日(金)～3日(日)は、完全休館日となります。無人開館もありません。

* 1月15日(金)12:00～、1月16日(土)、1月17日(日)はセンター試験のため、秋田キャンパスのみ完全休館します。無人開館もありませんのでご注意ください。

* 2月26日(金)は、資料整理日のため8:30～17:00まで休館となります。

* 本荘キャンパスは、2010年3月31日まで試行的に開館時間を変更しています。

秋田県立大学 図書館だより No.20 2010年1月発行

秋田県立大学 図書・情報センター <http://www.akita-pu.ac.jp/library/index.htm>

- 秋田キャンパス ☎010-0195 秋田市下新城中野字街道端西241-438
TEL:018-872-1561 FAX:018-872-1674 E-mail:a_library@akita-pu.ac.jp
- 本荘キャンパス ☎015-0055 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
TEL:0184-27-2049 FAX:0184-27-2185 E-mail:h_library@akita-pu.ac.jp
- 大潟キャンパス ☎010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南2-2
TEL:0185-45-2028 FAX:0185-45-2021 E-mail:toshokan@akita-pu.ac.jp
- 木材高度加工研究所図書室 ☎016-0876 能代市海詠坂11-1
TEL:0185-52-6900 FAX:0185-52-6924 E-mail:m_library@iwat.ac.jp